

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担 当 課: 道路局 国道・技術課
 担当課長名: 西川 昌宏

事業名	ひだか 日高自動車道(一般国道235号) しずないみつし 静内三石道路(静内～東静内)	事業 区分	一般国道	事業 主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	ほっかいどう ひだか しん しずないかみもり 自:北海道日高郡新ひだか町静内神森 ほっかいどう ひだか しん ひがししずない 至:北海道日高郡新ひだか町東静内			延長	8. 0km
事業概要 日高自動車道は、苫小牧市を起点とし、浦河町に至る高規格道路である。 静内三石道路(静内～東静内)は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化等の支援を目的とした延長8. 0kmの事業である。					
R4年度事業化		—		R6年度用地補償着手	
工事未着手		—		—	
全体事業費	約520億円	事業進捗率 (令和7年3月末時点)	約3%	供用済延長	0. 0km
計画交通量 7, 700台／日					
費用 対 効 果 分 析	B/C	EIRR	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)
	(事業全体)	(事業全体)	895/8,732億円		1,871/10,770億円
	1.2 (1.1)		(事業費: 813/8,015億円)		(走行時間短縮便益: 1,628/9,272億円)
	(参考) 1.6 (1.6) [2%]	5.0%(4.4%)	維持管理費: 77/ 553億円		走行経費減少便益: 204/1,187億円
	1.8 (2.0) [1%]		更新費: 4.8/ 165億円		交通事故減少便益: 40/ 310億円
	(残事業)	(残事業)	感度分析		
	2.1 (1.1)		(事業全体)		(残事業)
	(参考) 3.0 (1.7) [2%]	8.9%(4.7%)	交通量	B/C=1.1～1.4(±10%)	交通量 B/C=1.8～2.4(±10%)
	3.7 (2.1) [1%]		事業費	B/C=1.2～1.2(±10%)	事業費 B/C=1.9～2.3(±10%)
			事業期間	B/C=1.2～1.2(±20%)	事業期間 B/C=2.0～2.2(±20%)
事業の効果等					
事業の必要性及び効果					
① 畜産品の流通利便性向上 ・速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、畜産品の流通利便性向上が期待される。					
② 農産品の流通利便性向上 ・物流拠点への速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、農産品の流通利便性向上が期待される。					
③ 緊急輸送ルートの強化による迅速な道路啓開の支援 ・津波浸水想定区域を回避するルートが確保されるなど、災害時の緊急輸送ルートが強化され、迅速な道路啓開の支援が期待される。					
④ 救急搬送の速達性・安定性向上 ・並行する国道235号の信号交差点を回避し、高次医療施設までの所要時間が短縮され、救急搬送の速達性・安定性向上が期待される。					
⑤ 移住・交流人口の拡大による地域活性化 ・速達性の高い道路ネットワークが確保されることで、移住・交流人口が拡大し、地域活性化の支援が期待される。					

